

心情としての趣味のアナリスト

•これという気に入ったことを1つ、趣味としての仕事にすることがいい。生活のための仕事は別にやればいい。趣味だとくよくよする必要がありません。いやなことも我慢する必要がありません。人と比べる必要もありません。そうすると、新しいつながりが広がってきます。

•「趣味のアナリスト」も丸5年、そろそろペースダウンを考える必要があります。「会社を見る目を養おう！」のためのスズキ式「ベルレーティング法」は、一応確立しました。アナリストレポートを通して、実践でも通用することを確認しました。

•今度は、「趣味の投資家」です。これをいかに楽しむか。そのビジネスモデルも進展しています。30年以上この分野でプロだったので、投資の極意を体現したいと思います。趣味ですから、短期の金儲けは二の次です。長期的な価値創造をどう納得できるか、共感を得られるか、に重点をおきます。これができれば、「ベルレーティング法」の活用でパフォーマンスはついてくるはずですよ。

•野村卒業以来、土日の休日は全くありません。趣味ですから、休みがなくても構いません。健康一番で感奮興起します。

感奮興起

心に強く感じて奮い立ち、勢いが盛んになること。
「感奮」は心を揺り動かされて奮い立つこと。「興起」は奮い起こること。

「感動なきところに感謝なし」
「奮闘なきところに成功なし」
「興味なきところに上達なし」
「起動なきところに自立なし」

